

# 中部国際空港及び県営名古屋空港における航空機騒音の新旧評価指標の比較について

○村田悠実 祖父江里帆（尾張県民事務所海部県民センター） 芳澤宏之（尾張県民事務所）

## 1. はじめに

平成25年度以降、航空機騒音に係る環境基準の評価指標がWECPNLから時間帯補正等価騒音レベル（ $L_{den}$ ）に改正された。この改正により、新環境基準値は旧環境基準値から一律13減じた値に定められたが、実際の測定ではその差が異なる場合がある。このため、平成25年度から27年度まで中部国際空港及び県営名古屋空港周辺の地点で、新旧指標の調査を行ったので、その結果を報告する。

## 2. 調査地点と調査方法

平成25年度から27年度まで、中部国際空港周辺の7地点（地点1から7）で夏季及び冬季に各7日間の短期測定を行った。また、県営名古屋空港周辺の1地点（地点8）で通年測定を、7地点（地点9から15）で14日間の短期測定を行った。各調査地点を図1及び図2に示す。

航空機騒音自動測定機器NA-37（リオン(株)）を用い、航空機騒音監視測定マニュアル及び航空機騒音測定・評価マニュアルに基づき測定した。



図1 中部国際空港周辺の調査地点



(国土地理院の電子地形図を使用)

図2 県営名古屋空港周辺の調査地点

### 3. 結果と考察

中部国際空港及び県営名古屋空港周辺における調査結果を表1及び表2に示す。

新旧環境基準値の差は13とされているが、WECPNLと $L_{den}$ の数値の差(W-L)は、中部国際空港周辺の調査結果では10から13であり、県営名古屋空港周辺の調査結果では12から16であった。新旧環境基準の値の差が13にならなかった原因としては、WECPNLの計算式が騒音の継続時間を20秒と仮定していることや、時間帯別パワー平均値が一日のパワー平均値と等しいと仮定していることが考えられる。

表1 中部国際空港周辺における調査結果

地点	類型	平成25年度			平成26年度			平成27年度			平均継続時間 (秒)
		WECPNL	$L_{den}$ (dB)	W-L	WECPNL	$L_{den}$ (dB)	W-L	WECPNL	$L_{den}$ (dB)	W-L	
地点1	I	51	38	13	45	34	11	46	33	13	51
地点2	I	57	46	11	57	46	11	56	45	11	43
地点3	I	54	43	11	50	38	12	50	38	12	41
地点4	I	46	34	12	45	35	10	46	33	13	51
地点5	I	45	32	13	42	30	12	44	32	12	38
地点6	—注2	50	38	12	50	38	12	52	41	11	51
地点7	—注2	49	37	12	48	36	12	44	33	11	53

注1 旧環境基準値 (WECPNL) I 類型 70 以下、II 類型 75 以下

現行の環境基準値 ( $L_{den}$ ) I 類型 57dB 以下、II 類型 62dB 以下

注2 地点6及び地点7は、環境基準の地域類型を指定した地域外の地点である。

表2 県営名古屋空港周辺における調査結果

地点	類型	平成25年度			平成26年度			平成27年度			平均継続時間 (秒)
		WECPNL	$L_{den}$ (dB)	W-L	WECPNL	$L_{den}$ (dB)	W-L	WECPNL	$L_{den}$ (dB)	W-L	
地点8	I	78	63	15	78	63	15	78	62	16	17
地点9	I	69	57	12	73	59	14	72	59	13	33
地点10	II	66	52	14	64	50	14	66	52	14	25
地点11	II	72	58	14	71	56	15	72	58	14	33
地点12	I	71	57	14	70	56	14	72	58	14	27
地点13	II	68	54	14	67	53	14	66	53	13	28
地点14	I	62	48	14	63	49	14	63	50	13	34
地点15	I	64	50	14	65	51	14	63	49	14	28